

# 各セクションの報告・情報

## THE 現場

去る4月24日～26日、(※1)「第38回日本ホビーショー」内「ホビーッキングフェア」にて、(※2)おかし屋ぱれっとと工房ぱれっとの初めてのギフトセットを販売していただきました。販売して下さったのは長年たまり場ぱれっとやえびす・ぱれっとホームの料理ボランティアにご協力いただいているやまぎきゆかさんです。山崎さんは昨秋六本木に「食のショールームPaRs」(以下:PaRs)をオープンし、小規模生産者のもとを自分の足で歩いて探した、本当においしくて安全な食品を紹介する活動をしています。今回出張版PaRsのような形で出展されたブースで、全国津々浦々の選りすぐりの商品に仲間入りでき非常に光栄でした。更に、完売する商品もあり、通所員に嬉しいニュースを届けることができました。そんな、大変お世話になっている山崎さんの思いをインタビューしてきました。

● 私たちの商品を扱って下さっている理由は何ですか？

—味が本当においしいので、自信をもっておすすめしています。(※3)今日も一生懸命働く皆さんの姿も見させていただきました。今回のイベントだけではなく、普段も皆さんの商品をPaRsに置いていますよ。

● ぱれっととの出会いは何ですか？  
—高校3年生の時、たまり場ぱれっと

### おかし屋ぱれっと/工房ぱれっと

～ホビーショーでお世話になった山崎さんに聞きました～

の雪あそび合宿に参加したのがきっかけです。小学生の頃からマザー・テレサに憧れ、ボランティア活動に興味を持っていました。他にもボランティア活動をしていましたが、ぱれっとはボランティア仲間が楽しそうに活動しているし、何よりぱれっとの理念が好きで、ずっと関わっています。

● 「食」のショールームを始めたきっかけは何ですか？

—以前カフェで働いていた5年半、メニューに使う野菜を収穫するため福島に通って畑仕事をしていました。そこで出会った生産者の人柄が表れた仕事を見て、その商品をもっと消費者につなげる応援をしたいと3・11の震災がきっかけで思ったのです。現在は日本各地約40か所の商品をPaRsで紹介していますし、管理栄養士の資格を活かして、全国各地の自治体や商工会から依頼を受け、メニュー開発や商品化のアドバイスもしています。

● 今後のPaRsの展望を教えてください。

—構想段階から、障がい者やボランティアさんも気軽に来て交流できる場所にしたいと思っていたので、ぱれっとを通じて出会った皆さんに、ここを月1回開放するのが目標です。

ありがとうございました。山崎さん、この度は大変お世話になりました。今後ともどうぞよろしくお願ひします。(たまい)

☆食のショールームPaRsの詳しい情報はホームページ <http://s-pars.com/> をご覧ください。きつと魅力的な食べ物に出会えますよ。

(※1) 東京ビッグサイトで開催されたアジア最大級のアート・ホビーフェア。(※2) おかし屋で製造したクッキーと、工房で作ったマフィン(マフィンに見立てたピンクッション)やヘアゴムのセット。

(※3) 表紙写真参照。